### お米大好きなプログラマーの

ポートフォリオ

隙間時間に Photoshopで作った お米風プロフィール画像

学校:福岡情報IT・クリエイター専門学校

名前:河村 晃希(かわむら こうき)

好きな食べ物:ご米

PGスキル: C, C++, C#, HLSL

ゲーム制作環境: VisualStudio2022 C++ (DXライブラリ使用)



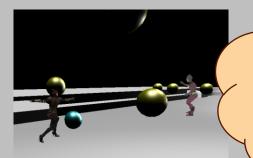


# 最新の現在製作中のゲーム



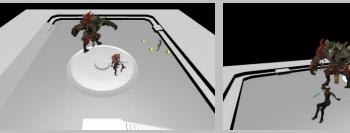






操作武器は

剣、斧、魔法の三種を実装 それぞれ3連撃コンボが可能



クォータービュー視点



TPS視点 with ターゲットロック



ハイアングル視点



num class State

参考にしたサイトでは、 「各ステートはキャラクター達の 行動決定をするためのもの」 という意向のもとで実装 別の考え方もありそうだったため、 今後も研究予定

2024年11月~ (2月頃完成予定) ハック&スラッシュ 1マップバトルアクション TACTICAL POWER



現在制作中の作品。

キャラクターにはステートクラスを実装。

カメラはクォータービュー、TPS、 ハイアングルの3視点実装し、 状況に応じて使い分ける予定。 また、カメラのイージングやボスへの ターゲット視点固定も可能。

また、カプセルの当たり判定の実装によ り、武器が敵にヒットしたときのような、 詳細な当たり判定をとることが可能に。

今後は各キャラクターのパラメータ周り をcsvファイル等を用いながら設計して ハック&スラッシュの部分を 作り上げつつ、制作を進める予定。



### 1本の作品として完成させたゲームたち







#### 2024年8月~10月 1マップ型3Dバトルアクション ORDEAL MAZE



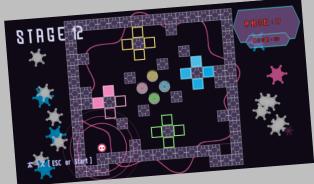
完成した1本のゲームとしては初の作品

lvslでボスバトルを行い、 強化して自身で難易度を調整しつつ、 繰り返しバトルを行うゲーム。

この作品からカメラの回転には Quaternionを採用。

また、Effekseerというエフェクトの 制作ツール、ライブラリを使用して より戦闘感を付与。

エフェクトやライトによるゲームの 重さの課題を抱え、作っていて自身 の勉強となった作品。



バイナリデータの 読み書きを行って、 回数記録の セーブ&ロードを実装

```
// セーラ
void Filet: (%vel)

// フィルの時間は
/ フィルの時間は
/ フィルの時間は
/ ローラットル音な
if (foem_s[Writefp, "TimeButa", "wb") == 0)

for (int i = 0: i < 5: i++)

[f (m_timeRark[1] > 0)

fwrite(m_timeRark[1], sizcof(int), 1, Writefp);

fclose(Writefp);
else
sesert(false);
return;

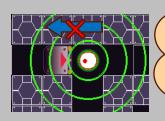
// ロード
void Filet: Load()

Fitter Read's = nulleby:
if (foem_sidBeadfp, "TimeButa", "rb") == 0)

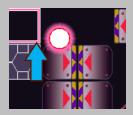
// EPWIREDDOINTEATE
for (int i = 0: i < 5: i++)

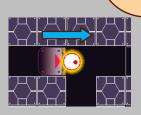
fclose(Read'p);
close(Read'p);
// フィイルが無い(がカナレイ) 時のか別様子一分作成
else

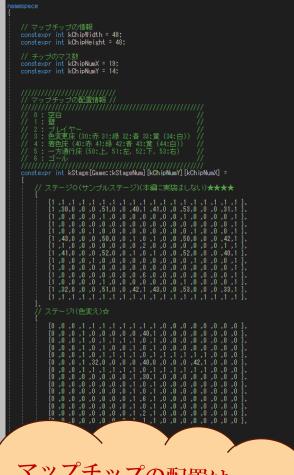
Creat eData():
See(3):
Load():
return;
```



ギミックとして移動方 向制限床を実装 プレイヤーの進行方向 から通過可能かを判定







マップチップの配置は namespace内にて数字で割り 当てて管理、参照 当時はcsvファイルを使う 発想が無く...

#### 2023年10月~2024年2月 1画面型パズルアクション2D GLOW RULER



個人として初の作品。

円状の装置で色を取得し、対応する色の 床を光らせる。全て光らせたらゴールを 目指し、その移動回数を測るゲーム。

「失敗やゲームオーバーは作らない」 「繰り返し挑戦してもらう」 という考えを元に制作。

データファイルの読み込み、書き込みを この時点で作成。この作品では主に移動 回数の記録として使用。

背景や横の模様などは、アニメーション 付きの画像などが見つからず、自力で描 画。



### 1本のゲーム化とまではいかなかったが、 機能だけ制作した簡易ゲームたち





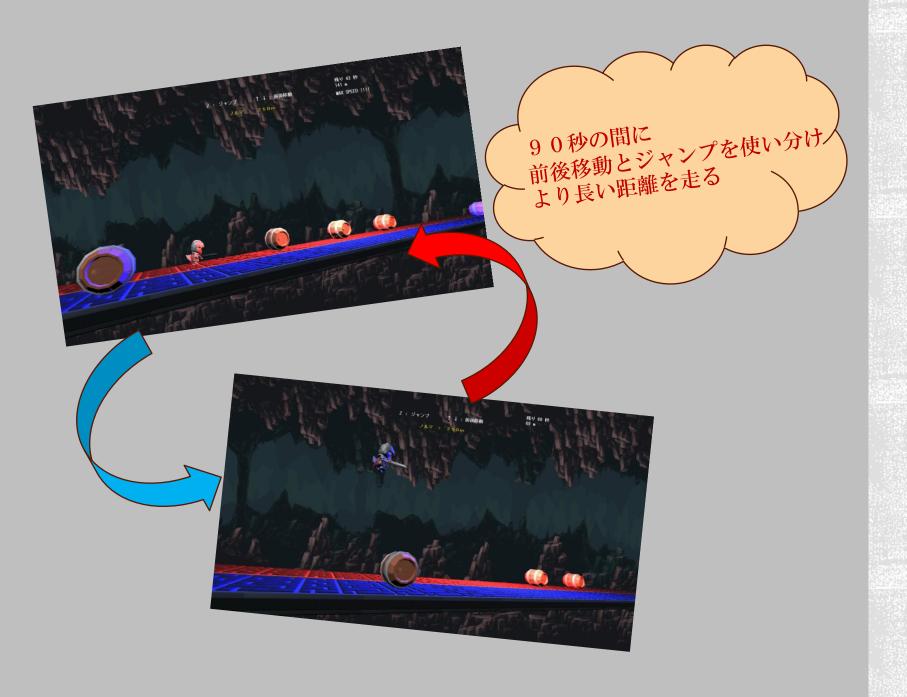
行列クラスの実装 移動、回転、拡大縮小、 行列同士の計算まで可能

## 2024年5月~6月 仕分けゲーム

赤と緑のキャラクターを捕まえて それぞれ対応した色の球状エリアに 投射していく簡易ゲーム。

このときに行列を用いたカメラ回転 を実装。(後にQuaternionを使いだし て、そちらに移行したけれども)

プレイヤーと仕分け対象との相互処 理を特に意識して制作。



### 2024年4月 ジャンプ&ランゲーム

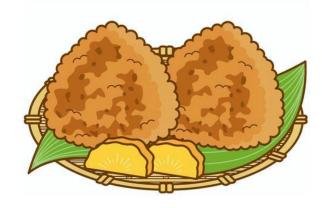
初の3Dモデルを使用した 簡易的な時間制ランゲーム。

加速減速、ジャンプの挙動といった プレイヤー周り動作処理を特に 意識しつつ、アニメーション管理の基 軸もここで作成。

前後の位置関係が分かりやすくなるようにとライトをいじっている内に、 デュフューズ、スペキュラー、アンビ エントなどのライティング知識をここ でそれとなく学ぶ。



## 今後の目標



- これまでは実装を考える際にウェブサイトでの情報収集が主だったが、 書籍などを通してより多く深くプログラミングパターンや技術を取り入れて いきたい。
- 現状自分の作品に非同期処理が実装されておらず、毎プレイ時にロードで時間がかかることもあるため、非同期処理についても学び、プレイする側がよりストレスフリーに楽しめるような作品を目指して制作していく。
- キャラクター周りの動作処理だけではなく、シェーダーやレンダリングについてもさらに勉強を行い、柔軟な対応ができるように知識の幅を広げておく。

